



日本共産党 北区議会議員

のの山けん区政レポート

<https://ken-nonoyama.com/> mail@ken-nonoyama.com

No.718 2024.5.8

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

住民の声を基本計画に

私たちの手で赤羽のまちづくりを一住民懇談会開く



住民本位の赤羽まちづくりを進める会と、やさしいまちをつくる会・きたくは6日、赤羽会館で「私たちの手で赤羽のまちづくりを住民懇談会」を開催、50人を超える参加者が、赤羽のまちづくりについて真剣で、活発な議論を行いました。

主催者あいさつの後、私から現在区が行っている赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画の策定検討状況を報告。これを受け、7つのグループに分かれての分散討論では、検討会が示した5つのシナリオ・7つの案について、赤羽のまちの魅力、防災、環境、商店街、子どもの教育環境、公共施設の再配置の6つの評価の視点から検討を行いました。各グループでは



討論シートに貼られた参加者の意見

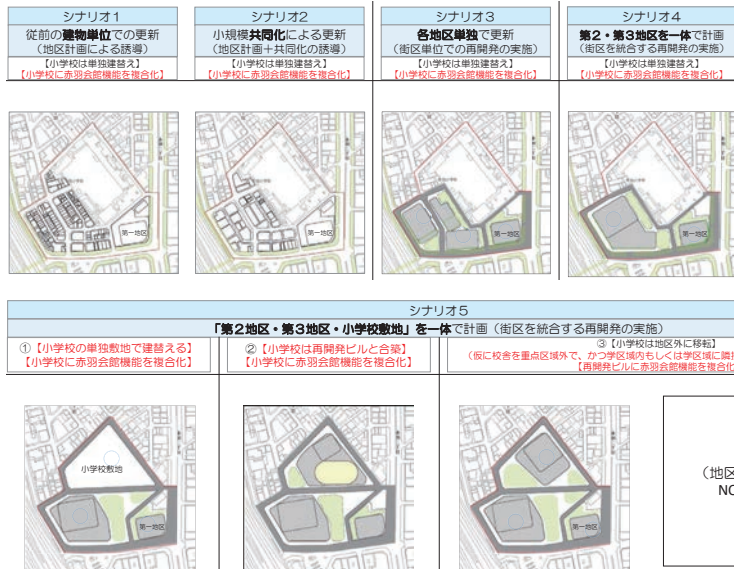
テーブルに置かれた討論シートに、次々と意見を書き込んだ付箋を貼っていききました。

タワマンやめ、修復型のまちづくりを

討論では、タワマンションを誘致する再開発計画を見直し、修復型のまちづくりを求める声が圧倒的でした。こうした住民の声を、基本計画の策定に反映させていくべきです。(のの山けん)

基本計画「中間報告」公表へ

赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画策定検討会は、この14日に開く第5回検討会での検討をふまえ、基本計画「中間報告」を公表する予定です。(のの山けん)



現在、基本計画策定検討会で検討されている7つの案(「5つのシナリオ」)

検討会が示した7案のうち、シナリオ1・2は再開発によらない個別・共同建築の修復型まちづくり案、シナリオ3から5は市街地再開発の案で、シナリオ5には、赤羽小学校を再開発ビルの中に入れ込む案や、地区外へ移転させる案

も含まれます(左図参照)。これまでの検討会では、3つのミッシェンズごとに、計36の評価項目で7案について検討、第5回検討会の後に、「中間報告」で各案ごとの評価点を示すとしていきます。

評価の前に、住民の声を聞く場を

しかし、地域住民の声を代弁するはずの、まちづくり協議会による「まちづくり提案」は昨年の総会で否決され、その後、協議会は活動を休止。まちづくり懇談会の開催を要望する声が上がっているものの、開催のめどは立っておらず、計画に住民の声が十分に反映されない恐れもあります。区は中間報告で「評価」を下す前に、7案について地域住民や商店街、学校関係者などから率直な意見を聞く場を設けるべきです。

自民が新会派を結成

北区議会の自由民主党議員団に所属していた7人の議員は4月26日、同会派を離脱し、新たな会派「自由民主党北区新時代の会」を結成しました。

これにより自民党は、新時代の会と自民党議員団の2つに分かれることとなり、公明が第1会派、共産が第2会派と同数の第3会派となりました。(のの山けん)

新時代の会= 永沼かつゆき、坂場まさたけ、石川さえだ、松沢よしはる、平田りさ、金田よしあき、仲田みずき

自由民主党= 戸枝大幸、渡辺かつひろ、竹田ひろし、大沢たかし

